



提供：志摩地中海村



2020年12月7日

# 国立公園満喫プロジェクトと ワークショップの取組について

伊勢志摩国立公園管理事務所  
内田 清隆



# 国立公園満喫プロジェクト

「明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月）」の柱の一つに国立公園が位置づけられる

2016年～ 国立公園満喫プロジェクト開始 【訪日外国人の国立公園利用者数】490万人（2015年）→667万人（2019年）

## 国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

国立公園を核とした  
地域循環共生圏の実現



国立公園の優れた  
自然環境

最大の魅力は  
自然そのもの

保護

利用

地域の産業の活性化  
地域の持続的な発展

地域資源として  
自然の価値向上

### 国立公園の磨き上げ

- ・ 景観改善（廃屋撤去等）
- ・ ビジターセンター等の再整備
- ・ 公共施設の民間開放（カフェ等設置）
- ・ 体験プログラムの充実
- ・ 利用者負担による保全のしくみ
- ・ 多様な宿泊サービス充実



### 国内外へのプロモーション

- ・ 観光協会・企業との連携
- ・ SNSや海外メディアの活用
- ・ 旅行博・商談会の参加
- ・ 旅行会社等との情報交換会の開催



### 国際観光旅客税の活用による取組の強化

（2019年度～）

- ・ 利用拠点の滞在環境の上質化
- ・ 多言語解説の充実
- ・ 魅力あるコンテンツ充実（野生動物観光／グラビタ／地場産品／ナイトタイム）
- ・ 日本政府観光局サイトへの一括情報サイト設置
- ・ ビジターセンターの機能強化等

# 伊勢志摩国立公園満喫プロジェクト 主な成果例

## これまでの成果例 (1)

「横山天空カフェテラス」の整備を核とした横山集団施設地区の一体的な魅力向上  
横山から望む英虞湾の優れた景観を最大限に活かした、魅力ある利用空間の整備を図り、その魅力を十分に満喫できる上質な時間を提供することで、付加価値の高い新たな魅力を創出

【園地内の他の展望台の再整備】

【クルーズ船乗客の誘致】



乗客のガイド



木もれ日テラス



そよ風テラス

【二次交通の改善】



志摩Maasの実証実験

【多言語化】



みはらし展望台  
Miharashi View Point

標識の多言語化 (QRコード)

【横山天空カフェテラスの整備】  
【民間のカフェの導入/地場産品を活用したメニューの提供】



利用者数が65%増加  
滞在時間が増加

【環境保全対策の推進】

プラスチック  
削減  
**RE100**

横山VC/カフェ

【情報提供の一元化】



デジタルサイネージ

【イベントの実施】



トワイライトカフェ (ジャズ演奏)



天空ヨガ

【英語ガイドの育成】



英語研修

# 伊勢志摩国立公園満喫プロジェクト 主な成果例

## これまでの成果例 (2)

### クルーズ船の乗船客への観光案内

鳥羽港に寄港するクルーズ船の乗船客に対し  
伊勢志摩の魅力をPR  
(約1.2万人が降船し伊勢志摩を観光)

### クルーズ船の寄港実績 (2019年)

- ダイヤモンド・プリンセス(6回)
- EUROPA II(1回)

※飛鳥II、にっぽん丸などの日本船籍を除く

### 伊勢志摩の観光案内

- 臨時の観光案内所を随所に設置
- 通訳ボランティアを配置
- Wi-Fi環境の強化
- デジタルサイネージ及び多言語標識を設置

### 伊勢志摩の観光ガイド等

- 横山展望台への案内及び横山のネイチャーガイド
- 学生ボランティアによる市内の観光施設などへの誘導
- バスの臨時便の運行/フリータクシーの運行



乗船客への観光案内



真珠のアクセサリー作り(横山VC)

## これまでの成果例 (3)

### 諸課題に対応した取組の推進体制の確立

地域経済の好循環の拡大に向けた地域が一体となった持続的な取組の推進体制の確立

### 伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の設置

伊勢志摩国立公園及びその周辺地域において地域づくりなどの実現を目指してエコツーリズムの推進を図る

- 全体構想の策定に向けた検討
- 「インキュベーター事業」による高付加価値のツアー造成など

### 志摩Maas協議会の設置

近鉄や二次交通の乗車券類のほか、着地型旅行商品の「検索、予約、決済」などのシームレス化を図る

- Webを使った実証実験 (R1.10月~11月)
- アプリを使った実証実験 (R2.1月~3月)

### 鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会の設置

鳥羽港に寄港するクルーズ船の乗船客を、伊勢志摩各地の観光地に誘客し、地域の消費拡大を図る

- 鳥羽港での観光案内
- ショートツアーの造成



志摩Maasの実証実験



## これまでの成果例 (4)

### 海女文化の継承と活用

3000年の歴史を有する海女文化の保存を図るとともにその魅力を世界に発信

### 海女文化のプロモーション

- ツーリズムEXPOジャパン、商談会などでPR
- パリで海女文化のトークショーを開催
- フランス・ドイツの公共放送「アルテ」が海女の番組「旅への招待」を収録し、EU各国に配信

### 海女文化の保存・継承

- 国の「重要無形民俗文化財」に指定(H29)
- 「日本遺産」(R1)、「日本農業遺産」(H29)に認定
- ユネスコ「無形文化遺産」の登録に向けた取組の推進
- 「全国海女サミット」の開催(毎年)
- 三重大学が「海女学講座」を開講(H31年度~)

### 海女体験

「海女小屋」の外国人利用者の増加  
(鳥羽市内の海女小屋の例)

- ・A社: 約2.7倍 (2015年と2019年の比較)
- ・B社: 約2.3倍 (2016年度と2019年度の比較)



海女小屋

# (概要) 国立公園満喫プロジェクトの2021年以降の取組方針

- 2016年～2020年までのプロジェクト実施により、特に8国立公園で、プロモーション、施設改修、Wi-Fi整備、多言語化等進展したが、「世界水準」のブランド力・認知度や、民間と連携した利用の質の向上は不十分。
- コロナウイルスの影響により国内外の利用者数が大幅に減少し、公園事業者の事業継続と雇用維持が課題。アウトドアレジャーやテレワークの関心高まりによる新たなライフ＆ワークスタイルの転換が見込まれる。
- 訪日外国人の今後の回復は不透明だが、現時点で2030年の政府全体目標は維持（訪日外国人6000万人）



国立公園満喫プロジェクトを以下の観点から**2021年以降も継続的に実施し、新たな展開を図る。**

## 基本的な方針

1 ウィズコロナ・ポストコロナの時代への対応  
～ワーケーション等～

- 国内誘客の強化、地域内観光の受け皿として再構築
- ワケーションなど国立公園の新しい利用価値を提供
- コロナ禍での安心・安全で快適に利用できる受入環境整備
- 国立公園のブランディング、多様な利用者層をターゲットにしたコンテンツ充実・情報発信
- 限定体験やキャパシティコントロールの推進による保護と利用の好循環

2 水平・垂直展開  
～8公園から全公園へ～

- 全34公園の底上げ・水平展開（法改正も含む制度化検討、総合展開型・個別事業型）
- さらなる高みを目指した集中的な取組による「世界水準のデスティネーション」の実現（保護と利用の好循環、上質なサービス、体験コンテンツ、周辺地域との広域周遊、サステナブルツーリズム等）
- 先行8公園等は取組継続・成果を生かした誘客
- 国立公園・ロングトレイルの資源の活用・連携

3 これまでの基本的な視点の継続・重視

最大の魅力は自然そのもの／人の暮らし・文化・歴史を有する自然との共生の姿／「体積」で考える／幅広い利用者層に対応／広域的な視点／サステナビリティ

## 目標・指標

当面の目標  
(～2025)

- ・自然を満喫できる上質なツーリズムの実現とブランド化。そのための「質」の目標・指標の設定（延べ宿泊者数、認知度等）
- ・新型コロナウイルスによる影響前の国内利用者の復活
- ・訪日外国人利用者数1000万人目標を見据えた、同ウイルスによる影響前の訪日外国人利用者の復活
- ・取組を行う公園・地域ごとに個別の目標・指標を設定 ※政府全体目標次第で必要な見直しを検討

長期目標（～2030）政府全体目標を踏まえつつ、上記の「当面の目標」の達成状況をフォローアップする中で検討



# ワーケーション推進の背景

## • 特に地方部の人口減少

- ✓ 2040年には全国896の市区町村が「消滅可能性都市」（若年女性5割以上減少）に該当（日本創生会議資料）。
- ✓ 国立公園利用者数は1991年の約4億人をピークに減少傾向。

## • 旅行ニーズの変化

- ✓ 団体旅行から個人旅行へのシフト。
- ✓ 多拠点居住、サテライトオフィスなど、旅行の考え方も変化。

## • 新型コロナウイルスによる影響

- ✓ インバウンド利用者の激減。回復まではまだしばらく時間がかかる見込み。
- ✓ 収束後に旅行先で行いたい活動は1位：温泉、2位：自然や景勝地への訪問（JTBF旅行者意識調査）。
- ✓ 約3／4の人がオンライン業務、テレワークの活用を希望（JTB総合研究所意識調査）。



# 国立公園等でのワーケーションの推進

- ✓ 豊かな自然の中で「遊び、働く」ことで、参加者にとってはクリエイティブな仕事につながる
- ✓ インバウンドの回復にはまだしばらく時間がかかるなか、地域にとっては新しい需要の取り込み、平日の観光地の活性化が期待（旅行に仕事を持ち込むではなく、長期滞在の実現を）
- ✓ 地域とリモートワーカーの交流による地域課題の解決や新たなビジネスの創出にも
- ✓ 旅行形態の多様化、「日常」と「旅先」の関係性の変化が今後さらに進むと思われる中、国立公園としても新しい利用を積極的に受けれていく必要

- 新型コロナウイルスの流行以降、感染リスクの低いキャンプ場等の自然志向の高まりとテレワークの定着が進み、**ワーケーションの機運が高まっている。**
- ワーケーションを受け入れるための環境整備を行い、自然の中でクリエイティブに仕事を行うとともに、家族も安心して自然を満喫できる、**国立公園等で「遊び、働く」という新たなライフスタイルを示す。**
- ワーケーション推進に伴う**ロングステイとエコツアーの利用促進により、withコロナ時代の地域経済の支えや平日の観光地の活性化を目指す。**

## 事業概要

### ① キャンプ場でのワーケーションの実施



子供向けプログラム

### ② 旅館等でのワーケーションの実施



南紀白浜（白浜町）



鉄輪温泉  
（別府市）



鳴子温泉郷  
（大崎市）

◆国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、以下について支援する。

- ①ワーケーションツアー等の企画、実施
- ③プロモーションの実施

- ②子供向けプログラムの企画・実施
- ④ワーケーションのためのWi-Fi等の環境整備

# 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例①

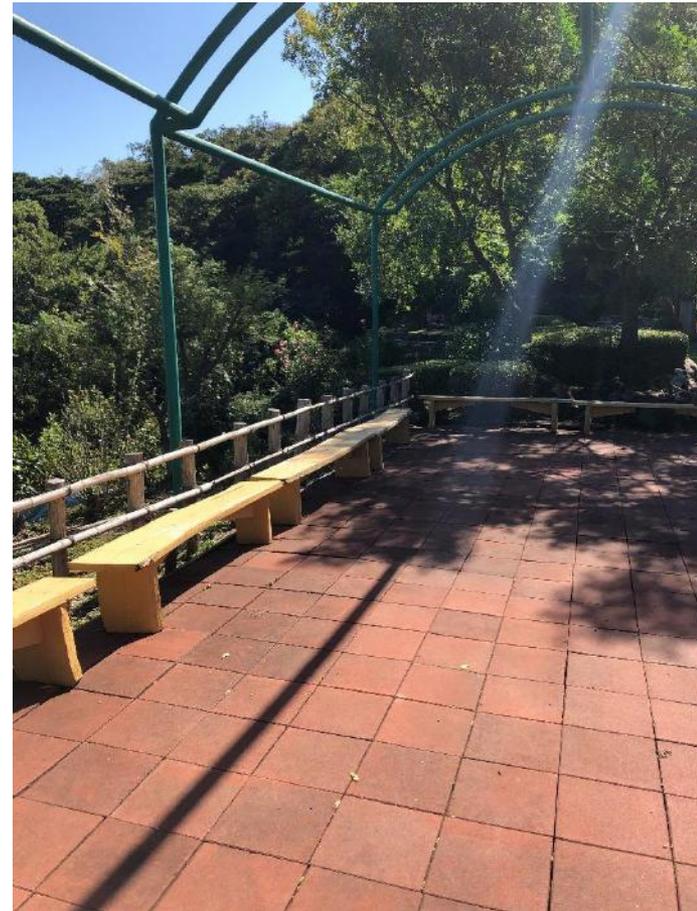


# 伊勢志摩におけるワークショップの取組事例①



# 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例①

## オープンスペース整備前



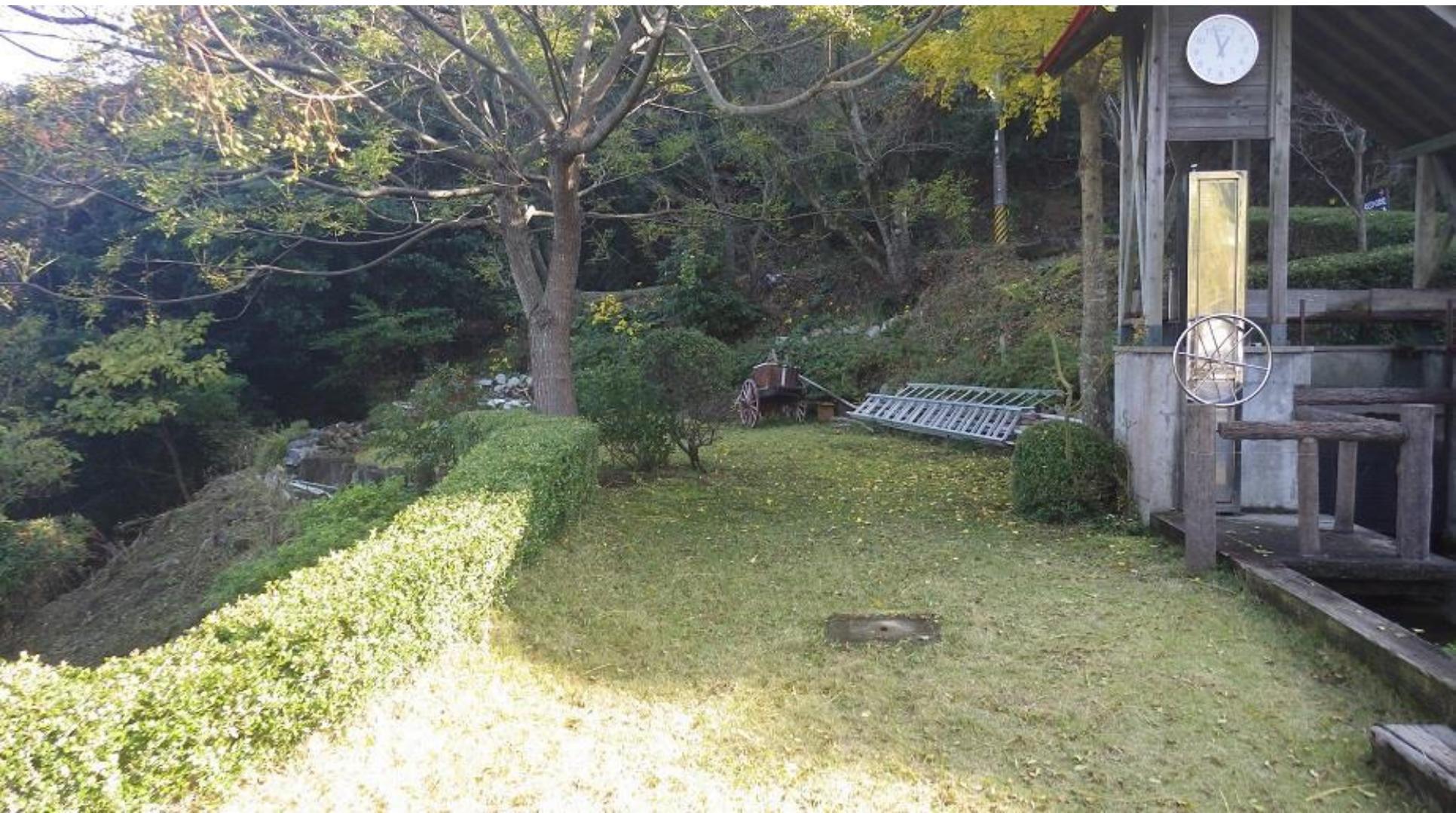
# 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例①

## オープンスペース整備後イメージ



# 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例①

## テントスペース予定地

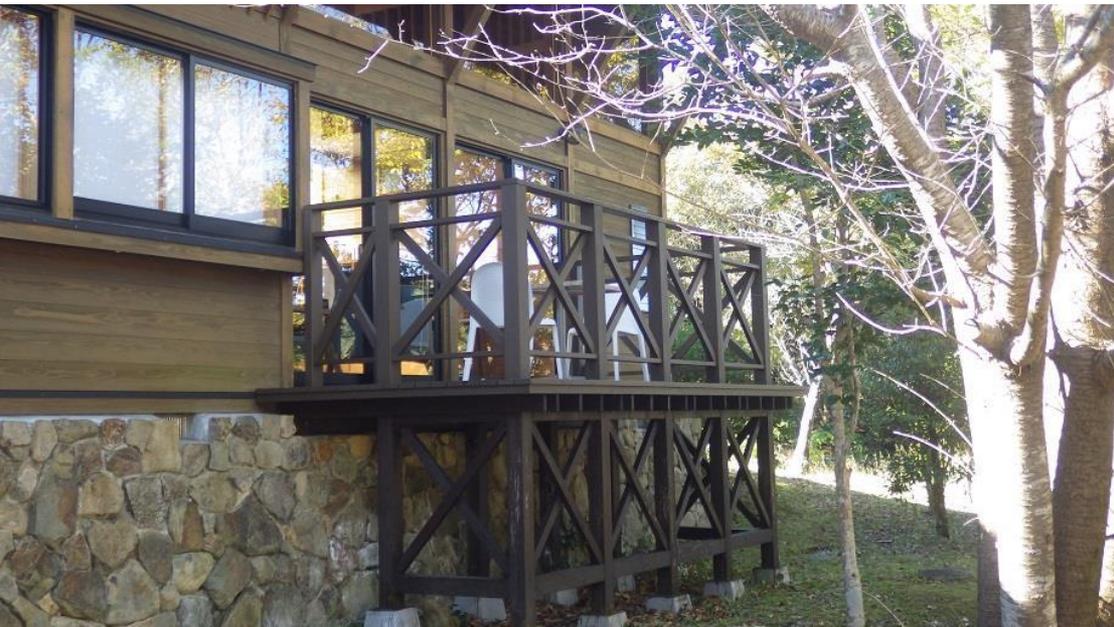


# 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例①

テント  
イメージ



## 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例②



## 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例②



## コワーキングスペース



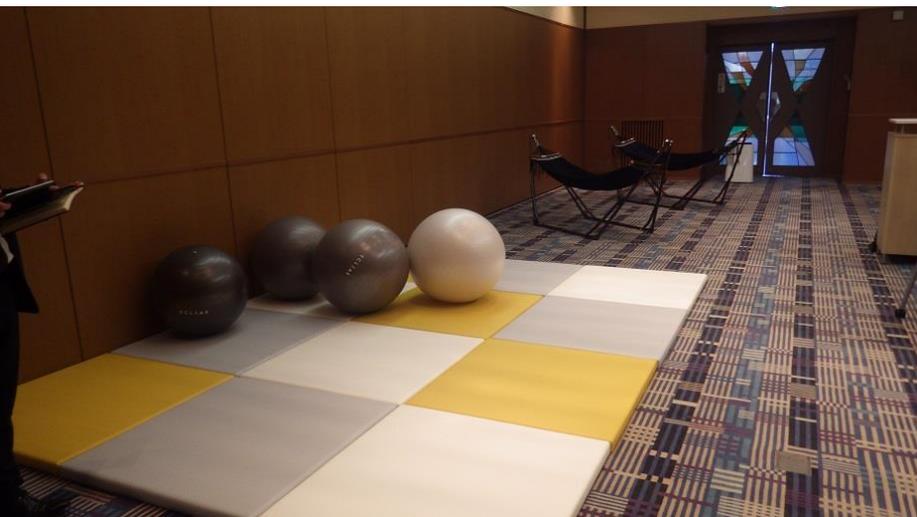
## 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例②



## リフレッシュスペース



## 伊勢志摩におけるワーケーションの取組事例②



# 志摩市が実施しているワーケーション関連事業

## ヘルスツーリズム推進事業（クアオルト推進事業）

ワーケーションとクアオルト等のヘルスツーリズムコンテンツを組み合わせた旅行商品の企画・販売

- 福利厚生会員企業向け情報発信媒体の制作
- ワーケーションプラン（旅行商品）の企画造成
- 会員企業および受入宿泊施設ニーズ調査
- 企業への情報発信・営業、クーポン発行による誘客

## 福利厚生企業会員向けプロモーション業務

当市の閑散期（秋・冬）において、同時期に旅行需要が発生する企業等の福利厚生制度を活用したプロモーション・誘客の実施

- 福利厚生会員企業向け特集WEBページ制作
- 広告バナー等の設定、メルマガ配信
- 企業の事務所等での、特集ポスターやチラシの掲示
- 3000円×500人泊分の宿泊クーポン

## 星空活用誘客促進事業委託料（観光客周遊促進事業）

ワーケーションプランにも適用できる志摩の星空の魅力を複合的に組み込んだ商品造成、人材育成、誘客プロモーションの実施

- 星空を活用した旅行商品造成・販売
- 星空ガイドの育成
- WEBやSNSを活用したwith・afterコロナを想定した効果的なプロモーション、デジタルマーケティングの実施